



# ちよだの保育



平成30年6月26日(火) 認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

各クラス、朝は大型積み木で遊んでいます。プラレールやおままごとなど、あそべるおもちゃがたくさんあふれている現代で、あえて大型積み木を使用して遊ぶのには、大切な理由があります。  
今回は『大型積み木』をくわしく紹介します。

## ちよだ幼稚園の大型積み木

保育参観でもご覧いただいておりますが、お部屋には大きな積み木がたくさん置いてあります。満3歳児・年少組はスポンジ、年中組・年長組は木製です。年長組の使用する積み木は、年中組に比べて大きく、重くなります。



満3歳児・年少組



年中組



年長組

## なぜ大型積み木を使うの？

幼稚園には、他にもプラレールやおままごと、ブロックなどの室内おもちゃもあります。個人持ちで粘土も購入していただいております。雨の日や食後、長時間保育など、そんなおもちゃで遊ぶ時間もあります。しかし、そういう遊びではたいてい“自分ひとりの世界”で遊ぶことが多くなります。(もちろん、おみせやさんや家族ごっこ、友だちと同じものを作る、など関わりが全くないわけではありませんが) その点、大型積み木で遊ぼうとすると**友だち関係**がうまれます。一人一人に十分な数が用意されていないの

で、友だちと一緒に遊ばないと自分のしたい遊びができないのです。家を作るか乗り物を作るか、**イメージを共有しながら**友だちと折り合いをつけながらでないと遊べません。特に年長組の大型積み木は重さもあり、友だちと力を合わせて運ぶうちに、自然にコミュニケーションがうまれます。

## 大型積み木で育つ力 = 創造性・空間認識

人と関わる力の他にも、こどもたちは遊びを通していろいろな力を知らず知らずの内に身に着けます。大型積み木では、**創造性**をはぐくみます。イメージしたものを、工夫しながら組み立て、時には失敗して崩れたり、時にはよりよくなるよう発展させていたり…。四角や三角、長い、短いなど自然に図形に触れているのです。

また、うまくいかずに崩れてしまっても、何度でもやり直したり形を変えていけることを学びます。気持ちの折り合いや、工夫の楽しさを幼児期に存分に味わうことができます。

片付けの時には、みんなで力を合わせて、「隙間ができないように」「高さが揃うように」と考えながら片付けるので、**空間認識**にもつながります。



## こどもたちのお約束

大型積み木の時には、いくつかのルールを守って遊びます。

- 上靴を履いて遊びます ← 特に木製積み木は怪我につながるので…
  - 高く積まずに遊びます ← 落下や崩れた時の危険を伝えています
  - 積んだものを倒しません ← 近くにいるお友だちのことを考えます
- など、**社会性**につながることを期待しています。

